

# どう伝える？ 原発事故 のこと

3・11を  
忘れない  
福島から  
未来へ

2019年

3月9日(土) 14:00 ~ 18:00

聖心女子大学4号館

聖心グローバルプラザ・ブリット記念ホール  
(地下鉄日比谷線 広尾駅4番出口から徒歩1分)



宇都宮大学学術院  
国際学部准教授

清水奈名子  
(しみずななこ)

2006年、国際基督教大学大学院行政学研究科、博士後期課程修了(学術博士)。国際連合の安全保障体制について研究すると同時に、東京電力福島第一原発事故後の被害調査を進めている。2011年より宇都宮大学国際学部准教授。国際学部附属多文化公共圏センター福島原発震災に関する研究フォーラム共同代表。



福島大学准教授  
後藤 忍  
(ごとうしのぶ)

大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻修了。博士(工学)。2004年から現職。専門は環境計画、環境システム工学、環境教育。福島第一原発の事故後、福島大学放射線副読本研究会を組織し、独自の放射線副読本を作成。また、福島県環境創造センター交流棟「コミュニティ福島」とチェルノブイリ博物館の展示内容の比較なども行っている。福島市在住。

プログラム(予定)

第1部

## 原発事故から8年、「見えない化」される被害の今

- 原発事故後の政策と被害の現状(満田夏花 / FoE Japan)
- 押しつぶされた「声」～ジェンダーの視点から  
(清水奈名子 / 宇都宮大学学術院国際学部准教授)

第2部

## 当事者として被害を語る

- 福島のお母さんたちの思い～福島在住のお母さん(福島ほかほかプロジェクト)
- 福島で暮らすこと 若者たちの思い～福島在住の大学生から
- 避難区域のいま、女性や高齢者の声は

第3部

## 原発事故を語り継ぐために

- チェルノブイリとの比較より 後藤忍(福島大学共生システム理工学類准教授)
- パネルディスカッション

参加費: 500円(FoE Japanの会員および学生無料)

主催: 国際環境NGO FoE Japan TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986

E-mail: info@foejapan.org

協賛: A SEED JAPAN, JIM-NET, WE21ジャパン、アユス仏教国際協力ネットワーク、開発教育協会、環境文明21、国際環境NGOグリーンピース・ジャパン、原子力規制を監視する市民の会、原子力市民委員会、原子力資料情報室、原発事故被害者団体連絡会(ひだんれん)、首都圏反原発連合、高木仁三郎市民科学基金、東京・生活者ネットワーク、ピースボート、避難の協同センター、ふくしま地球市民発信所(2019年1月15日現在)

協力: 聖心女子大学グローバル共生研究所

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures (SHISFI)

※お申込みは、FoE Japanのウェブサイトから。   もしくはお電話 / FAXにて、①ご氏名、②ご所属、③ご連絡先をご連絡ください。

ぜひ  
ご寄付を  
お願いします。

FoE Japanは、福島原発事故の被害者支援、原発ゼロをめざす政策転換、福島の親子の保養のために活動を続けていきます。  
郵便振替口: 00130-2-68026 口座名: FoE Japan (通信欄に、「原発チームへの寄付」とお書きください)  
または、城南信用金庫 高円寺支店 普通358434 エフ・オー・イー・ジャパン (送金後、確認のためにご一報ください)